

菅新内閣の発足について

菅総理大臣の誕生を心より歓迎したい。コロナ禍の中、政策の空白は許されない状況にあり、まずは感染拡大防止と社会経済活動の両立を図り、甚大な影響を受けている中小企業の事業継続と雇用の維持に、内閣を挙げて取り組んでいただきたい。

今回の内閣は、感染症対策の中心を担った加藤前厚生労働大臣を政権の要となる官房長官に据え、財務や経産大臣などの主要ポストに経験が豊富な大臣経験者を安倍政権から再起用するなど、政策の継続性を重視した堅実な布陣となった。重要政策を着実に実行し、「国民のために働く内閣」が実現されることを期待している。

ウィズコロナ・アフターコロナ社会を見据え、我が国の潜在成長率を高めるためには、民間需要が主導する力強い成長力が不可欠である。デジタル化による中小企業の生産性向上や流動性の高い労働市場づくりなどを進めるとともに、企業のイノベーションを促す規制緩和・構造改革の推進にリーダーシップを発揮されることを大いに期待する。また、パンデミックのリスクや社会経済活動の継続性の面において、東京一極集中の弊害が改めて露呈したコロナ禍を教訓に、持続可能な分散型社会に向けた地方創生を推し進め、国民が我が国の未来に明るい展望を抱けるような国づくりを進めてもらいたい。

以上

令和2年9月16日
京都商工会議所
会頭 塚本 能交